



La 102-a Japana Esperanto-Kongreso
en Sendai

La 10-a, 11-a, 12-a de oktobro 2015

第 102 回

日本エスペラント大会
(仙 台 市)

日 時： 2015年10月10日(土)、11日(日)、12日(月・祝日 体育の日)

会 場： 仙台市民会館 (仙台市青葉区桜ヶ岡公園 4-1 電話 022-262-4721)

主 催： (一財)日本エスペラント協会、仙台エスペラント会

後 援(申請予定)：(独法)国際交流基金、(公社)日本ユネスコ協会連盟、

(一社)日本ペンクラブ、宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、
NHK 仙台放送局、河北新報社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社 ほか

大会テーマ： **Espero trans la katastrofo 災厄の向こうの希望**

日本エスペラント大会が初めて仙台で開かれたのは1924年の第12回大会でした。招致が決まったのは前年の岡山での大会でしたが、それは1923年9月1日、まさに関東大震災の当日のことでした。そして、2011年3月11日に東日本大震災を経験した私たちは第102回日本エスペラント大会を開催しようとしています。

東日本大震災と福島原発事故によってこの地域は大きな打撃を受けました。復旧と復興の歩みののろいところも多く、時間の流れが止まったかのようなところも少なくありません。

江戸時代の初め、1611年に起きた慶長三陸地震は今回の震災と同様の被害をもたらしたと伝えられています。そのわずか2年後、仙台藩主伊達政宗はスペインや法王庁と外交関係を結ぼうとして家臣支倉常長をローマに派遣しました。これは日本製の船の初の太平洋横断であり、日本人初の大西洋横断となりました。

災厄は地震だけではありません。1793年石巻を出港した千石船若宮丸は、難破してアリューシャン列島に漂着します。乗組員のうち4人は10年以上をかけてようやく帰国ができませんが、このようにして日本人初の世界一周は本人の意志の外において実現されました。彼らを連れ帰ったロシア船ナジェジダ号の名前がロシア語で「希望」を意味することは象徴的です。

災厄は破壊的な力で人間に襲いかかってきて、人間はそれに翻弄されます。しかし、屈服してばかりではなく、精一杯それに対処しようとし、それを乗り越えようとするものです。実際、東日本大震災を乗り越えようとする新しい動きもそちらこちらに湧き上がりつつあります。このようなときに、希望の言葉エスペラントはどのような力を私たちに与えてくれるでしょうか。

この大会に集うエスペランティストが、国際語エスペラントならではの国際交流を深めるとともに、いろいろな経験を語り合う中でエスペラントが持つ未来に向けた希望の力を感じてほしい、そのような願いを込めて仙台で大会を開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第102回日本エスペラント大会実行委員長 後藤 斉

[主なプログラム (予定)]

- 10月10日(土) 受付/12:00～、公開番組・分科会/13:30～、親睦の夕べ/17:50～
10月11日(日) 開会式・分科会/9:15～、分科会等/10:35～、懇親会/18:30～
10月12日(月祝) 分科会等/9:00～、閉会式/12:30～、大会後観光

[公開番組] 大震災とエスペラント

東日本大震災の災厄からの復興途上にある中で、エスペラントはどのような役割を果たしてきたのか、また今後どのような役割を果たせるのか、過去に幾度も起きている大震災で国際交流が復興に果たした役割とは？ 震災直後からエスペラントで世界へ発信してきた堀泰雄さん等のお話を伺いながら、未来に向けた希望の力としてのエスペラントの可能性について考えます。

[大会記念品]

記念出版物等を検討中。

[大会会場]

仙台市民会館 〒980-0823 宮城県仙台市青葉区桜ヶ岡公園4-1
Tel.: 022-262-4721

仙台市営バス：仙台駅前29番乗り場（仙台駅西口から250m西）から
「定禅寺(じょうぜんじ)通経由交通局・大学病院前」行き乗車、
「仙台市民会館前」（約15分、100円）下車すぐ。

仙台市営地下鉄南北線：勾当台(こうとうだい)公園駅「公園2」出口から徒歩約10分。

タクシー：JR仙台駅から約10分。

仙台空港からJR仙台駅まで：仙台空港アクセス鉄道で25分（快速17分）。

高速道路：東北自動車道「仙台宮城IC」から約10分。西公園通りを左折。

[連絡先]

- ・日本エスペラント大会事務局
162-0042 東京都新宿区早稲田12-3 一般財団法人日本エスペラント協会内
メール：jek15s@jei.or.jp お問い合わせは主にメールで
TEL：03-3203-4581 FAX：03-3203-4582 ホームページ：<http://www.jei.or.jp>
- ・参加申込みは、[郵便振替 00130-4-744162 日本エスペラント大会A] へ。
「振替」到着後、2週間をめぐりに領収書（はがき）をお送りします。

◆大会参加費など

(単位は円)

参加費	期限→	3月末	7月末	8月～	備考 (○ 印 記念品・報告書あり)
① 一般		5,000	6,000	7,000	○
② 障害者			3,000		○
③ 家族		2,000	3,000	4,000	記念品希望者は①でお申込みください
④ 青年・留学生		2,000	3,000		○ (青年は2015年内に30歳になる人まで。生年月日を
⑤ 青年・留学生			2,000		記入!)(留学生は、日本に留学中の外国籍の人)
⑥ 中学・高校生		1,000	1,500		単独参加者の場合は○あり
⑦ 小学生以下			無料		
⑧ 外国から			2,000		○ 高校生以下は⑥, ⑦でお申込みください
⑨ 不在参加			3,000		○ 実参加へ切替の際は申込日の額との差額を追加で。
⑩ 記念写真			1,000		最終日にお渡します。各自お持ち帰りください。
⑪ 昼食 I 11日(日)			950		
⑫ 昼食 II 12日(月)			950		
⑬ 懇親会 11日(日)			6,500		
⑭ 大会後観光			17,000(予定)		サンファン館・津波被災地などを巡る (1泊2日の宿泊費を含む)
⑮ JEI学力検定試験		1級 5,000 / 2級 3,000 / 3級 2,000 / 4級 1,000			

◆取消し条件 ①～⑨の参加費は原則としてお返しできません。

⑩～⑮の費用は、9月末までに限り、返金手数料500円を控除し返金します。

〔宿泊〕

ホテルの斡旋はいたしません。仙台市内には多数の宿泊施設がありますが、大規模な行事が重なることも予想されますので、お早めにご予約ください。

〔市内観光〕

仙台市内中心部の主要観光スポットを巡るバス「ループル仙台」(仙台市交通局)のご利用をお勧めします。専用の一乗車券でどこからでも乗り降り自由、乗り放題です。一乗車券の提示で割引になる施設もあります。停留所は会場近くにもあります。

〔大会後観光〕

12日午後から1泊2日で、支倉常長が太平洋を渡った船が復元されたサンファン館(石巻市)や津波被災地などを巡る旅行を企画しています。(17,000円予定)。現地の状況が流動的なため、詳細は第2報以降でお知らせいたします。

La 102-a Japana Esperanto-Kongreso en Sendai

Dato: la 10-a, 11-a, 12-a de oktobro 2015

Kongresejo: La civitana domo de la urbo Sendai

15 minutojn aŭtobuse de la stacidomo Sendai

Kongresa Temo: "*Espero trans la katastrofo*"

La katastrofa tertremo kaj cunamo en la 11-a de marto 2011 lasis nemezureblan sekvon.

El tio tamen nun videblas burĝonoj de novaj movoj.

Kian forton al ni donas Esperanto, la lingvo de espero?

Ĉefaj programeroj (provizoraj)

La 10-an de oktobro (sabate)

Akceptejo: ekde 12:00

Posttagmeze: publika prelego kaj fakkunsidoj (ekde 13:30)

Vespere: Amika vespero (prezentantoj atendataj) (ekde 17:50)

La 11-a de oktobro (dimanĉe)

Antaŭtagmeze: Inaŭguro (ekde 9:15), fakkunsidoj k.s. (ekde 10:35)

Posttagmeze: fakkunsidoj k.s.

Vespere: Komuna bankedo (ekde 18:30)

La 12-an de oktobro (lunde)

Antaŭtagmeze: Fakkunsidoj (ekde 9:00)

Posttagmeze: Solena fermo (ekde 12:30)

Post la kongreso: Ekskurso al Muzeo Sant Juan Bautista kaj cunamita urbo.

Memoraĵo: planataj

Kotizoj: Partopreno el ekster Japanio 2 000 enoj

Loĝanto plenaĝula en Japanio

5 000 enoj (ĝis la 31a de marto 2015)

6 000 enoj (ĝis la 31a de julio 2015)

7 000 enoj (de la 1a de aŭgusto)

Pri ceteraj kotizoj (handikapulo, junulo, lernanto, alilanda studanto, morala partopreno, ktp) demandu al Japana Esperanto-Instituto (vidu informon malsupran piednotan).

Loĝado: Listo de proksimaj hoteloj prezentota.

Postkongreso (la 12-an kaj 13-an de oktobro, lunde kaj marde) : 17 000 enoj (provizora)

Foto: 1 000 enoj

Lunĉo: la 11-an kaj 12-an de oktobro, 950 enoj potage

Pri detaloj havu kontakton kun Japana Esperanto-Instituto

/ JP-162-0042 Tōkyō-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3

retadreso: jek15s@jei.or.jp, telefono: +81-3-3203-4581, fakso: +81-3-3203-4582

retejo: <http://www.jei.or.jp/hp/esp.htm>